



# 青南だより

令和6年12月号  
港区立青南幼稚園  
園長 石川 典子

早いもので今年もいよいよ最終月です。12月は子どもたちの豊かな表現をご覧いただく『音楽会（年少・年中組）』や『発表会（年長組）』、地域の方と触れ合いながら昔遊びを教えていただく『昔遊びの会』、保護者有志の方による『お楽しみ会』など楽しい行事があります。体験を通しての学びが楽しみです。寒さが増しますが、『早起き・早寝・朝ごはん』で生活リズムを整え、元気に2学期を終えることができるようにご協力をお願いいたします。

先日、人形劇団ひとみ座による港区出前人形劇を開催しました。幼児は喜んで鑑賞し、物語のストーリー、登場人物の動きや言葉、曲や歌などから、面白さやスリル感、驚きなど様々な感じ、感じたことを動きや言葉で表現したり、登場人物の気持ちに思いを馳せたりしていました。

園では幼児が楽しみながら物語（絵本や紙芝居、パネルシアターなど）を見聞きする経験大切にしています。幼児は、先生や友達と一緒に物語の世界を共有する楽しさや心を通わせる一体感などを感じます。また、多様な物語に触れ、自分の経験と結び付けながら、想像したり表現したりして楽しみ、新しい世界に興味や関心を広げます。自分の生活している世界しか知らない幼児は、様々なことを想像する楽しみと出合います。物語の登場人物の気持ちになり、今まで知らなかった未知の世界に出会い、想像上の世界に思いを巡らします。「なぜ」「どうして」と不思議さを感じたり、「わくわく」「どきどき」して驚いたり、心を動かします。悲しみや悔しさなど様々な感情に触れ、他者の痛みや思いを知る機会にもなります。

幼児期にはお話しの世界に浸ることで、様々なイメージを膨らませながら物語の世界へと入り込み、自己の内的世界（心の中に起こる思考や感情）を広げていきます。言葉が豊かになり、表現力、思考力、想像力、コミュニケーション力が育まれます。

冬休みはお子さんと一緒にゆっくりとお話の世界を楽しんでください。おうちの方の温かい膝の上で絵本の読んでもらうと、お子さんは「愛されている」と感じます。お子さんと絵本の話について感動を分かち合い、共に楽しさやお話の世界を感じ合うと「親子の共通体験」となります。絵本に描かれている内容をお子さんが自分の中に取り入れると、お子さんが自分自身を素晴らしいと思い、自分をポジティブに認めることができる「自尊体験」につながることもあります。親子だからこそできる読み聞かせでの体験は尊いものです。

今学期もご理解・ご協力ありがとうございました。よい年末年始をお過ごしください。

**青南幼稚園は、3年間の発達を見通した質の高い教育活動を推進しています。**

子どもたちの未来を見据え、港区教育ビジョン及び港区立学校教育推進計画に示される「生涯を通じて夢と生きがいを持ち、自ら学び、考え、行動し、未来を創造する人」を念頭に置き、幼児期にふさわしい遊びや生活を通じた質の高い教育実践を積み重ねていきます。

（港区立青南幼稚園 経営方針 園のビジョン、私たちの使命より）

